



床充填専用フェノールフォーム
ジュピー 施工要領書

2015 年 7 月


旭化成建材株式会社

目次

本施工要領書の取扱いについて	1
1. ジュピーの製品概要	2
1.1. 種類	2
1.2. 外観と構成	2
1.3. 製品規格	3
2. 推奨副資材：断熱材受金具「Jピン」	4
2.1. 外観	4
2.2. 製品規格	5
3. 施工の注意点	6
3.1. 共通事項	6
3.2. Jピンを使用しない場合（根太間に断熱材を施工する場合）	6
3.3. Jピンを使用する場合	7
ジュピー 取扱注意事項	9
免責事項	9

本施工要領書の取扱いについて

本施工要領書は、床充填専用断熱材「ジュピー」の標準的な施工方法を示したもので、全ての現場に当てはまるとは限りません。まずは、本施工要領書をご一読の上、施工ください。なお、各施工現場では、本施工要領書には合致しない様々な状況が考えられます。施工業者様におかれましては、建築基準法、関連法規、関連基準などを厳守して、各々の現場状況にあった施工および管理をお願いいたします。

- * : このマークは、設計上および安全上注意して頂きたい箇所に示してあります。
- * 記載内容は現時点での資料・データ等に基づいて作成しており、新しい知見により予告なく改訂することがありますのでご了承ください。
- * 印刷物と実物とは、多少外観が異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

1. ジュピーの製品概要

1.1. 種類

「JIS A 9511 発泡プラスチック保温材」に規定する、
「A種フェノールフォーム保温板3種1号 F☆☆☆☆ S」（断熱材区分「F」）

1.2. 外観と構成

製品外観を図1に、製品構成を図2に示します。

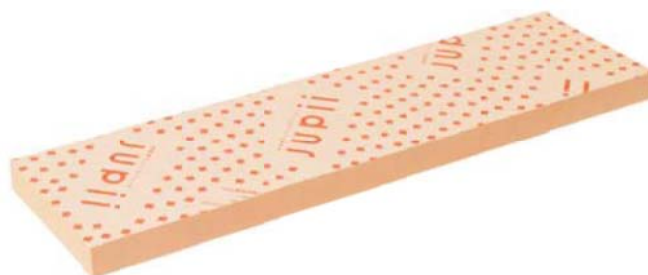


図1：製品外観

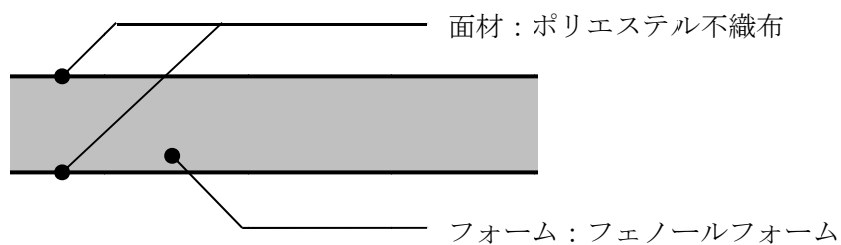
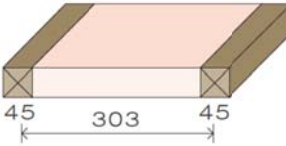
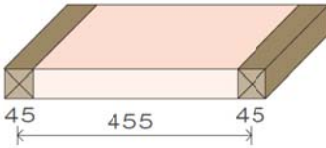
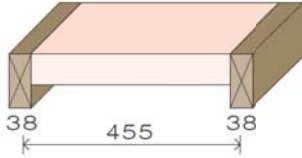
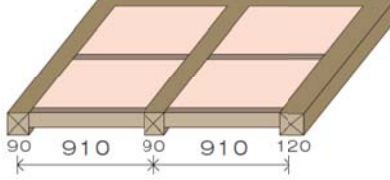
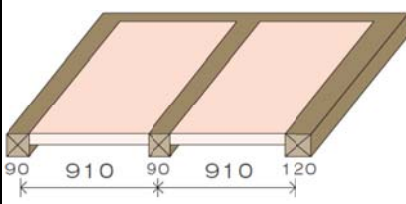


図2：製品構成

1.3. 製品規格

表 1 に示す通りです。

表 1：製品規格

工法	根太（大引）寸法	品番	サイズ(mm)			入数（/ケース）		熱抵抗 (m ² ・K)/W
			厚さ	幅	長さ	枚	施工面積	
根太間 充填		25J-S1 ※	25	257	910	24	2 坪	1.25
		40J-S1	40					12
		45J-S1 ※	45			2.25		
		60J-S1	60			3.00		
		66J-S1	66			3.30		
		40J-S5	40	409	910	8	1 坪	2.00
		45J-S5	45					2.25
		60J-S5	60					3.00
		66J-S5	66					3.30
		40J-T4	40	415	910	8	1 坪	2.00
		45J-T4	45					2.25
		60J-T4	60					3.00
66J-T4		66	3.30					
大引間 充填		45J-W1	45	804	864	8	2 坪	2.25
		66J-W1	66					3.30
		45J-W2	45	819	819			2.25
		66J-W2	66					3.30
		45J-W3	45	819	864			2.25
		66J-W3	66					3.30
		40J-W4	40	804	1820	4	2 坪	2.00
		45J-W4	45					2.25
		66J-W4	66					3.30
		40J-W5	40	819	1820	4		2.00
		45J-W5	45					2.25
		66J-W5	66					3.30
910×1820 サイズ		25J-B6 ※	25	910	1820	16	8 坪	1.25
		40J-B6 ※	40			10	5 坪	2.00
		45J-B6 ※	45			8	4 坪	2.25
		60J-B6 ※	60			6	3 坪	3.00
		66J-B6 ※	66			6	3 坪	3.30

※印は常備在庫品です。それ以外は受注生産品のため納期がかかります。

2. 推奨副資材：断熱材受金具「Jピン」

⚠ Jピンは鋭利な部分がありますので、怪我などしないよう取扱いには十分注意してください。

2.1. 外観

- ・ Wシリーズと Sシリーズがあります。
- ・ Wシリーズは図3、Sシリーズは図4に示す通りです。
- ・ Wシリーズは必要に応じて、二つに折って使用することができます。

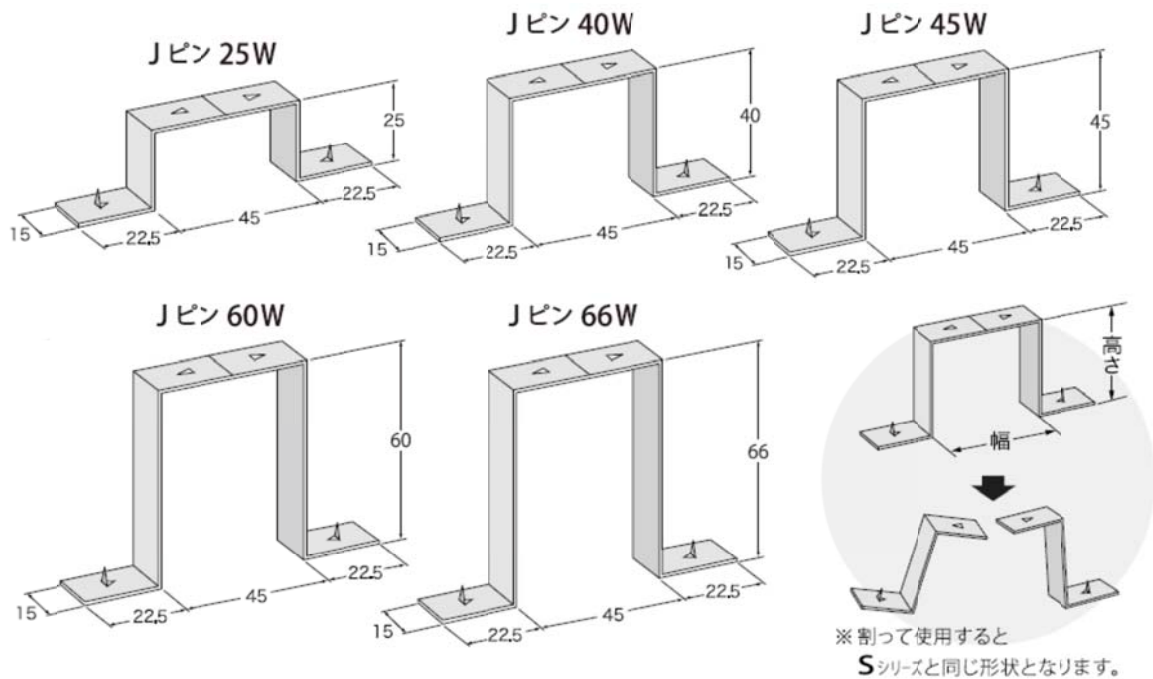


図3：Jピン Wシリーズ外観（単位：mm）

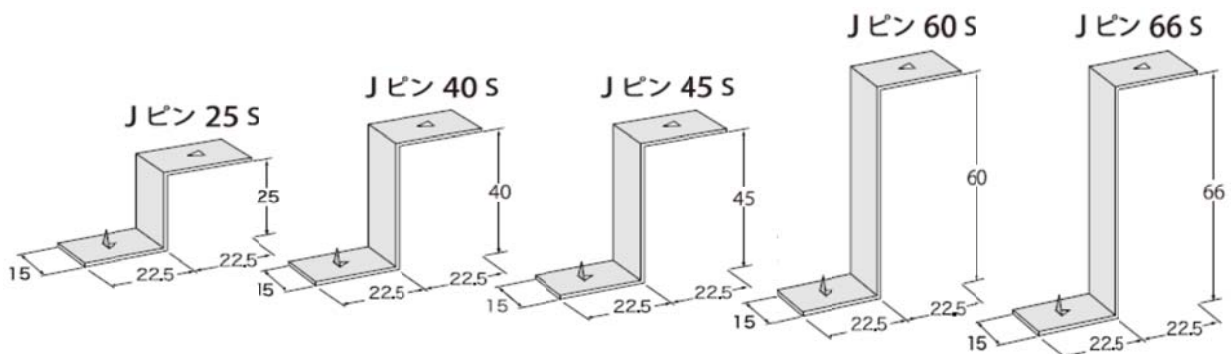


図4：Jピン Sシリーズ外観（単位：mm）

2.2. 製品規格

- ・W シリーズは表 2、S シリーズは表 3 に示す通りです。
- ・ご使用になるジュピーの厚さと、同じ高さの J ピンを選定してください。

表 2 : J ピン W シリーズ 製品規格

品名	品番	サイズ(mm)		入数
		高さ	幅	
J ピン 25W	JP-25W	25	45	24 本入／箱
J ピン 40W	JP-40W	40		
J ピン 45W	JP-45W	45		
J ピン 60W	JP-60W	60		
J ピン 66W	JP-66W	66		

*根太間施工の場合、24 本入／箱は 1 坪用です

表 3 : J ピン S シリーズ 製品規格

品名	品番	サイズ(mm)		入数
		高さ	幅	
J ピン 25S	JP-25S	25	22.5	96 本入／箱
J ピン 40S	JP-40S	40		
J ピン 45S	JP-45S	45		
J ピン 60S	JP-60S	60		
J ピン 66S	JP-66S	66		

*根太間施工の場合、96 本入／箱は 2 坪用です

*大引間施工の場合、96 本入／箱は 4 坪用です

3. 施工の注意点

3.1. 共通事項

! ジュピーは、床充填専用断熱材として開発された製品です。床以外の部位には使用しないでください。

・ジュピーは、根太間隔など設置場所の寸法に適合した品番を選定してください。

! 施工にあたっては、踏み抜き防止など、安全対策を十分にとってから行ってください。

・ジュピーは、床合板に密着するように施工してください。

・側根太部分の幅つめ、ころび止め部の長さ調整、添え木との取合い部の切断加工等は、適宜カッター等で行って下さい。

3.2. Jピンを使用しない場合（根太間に断熱材を施工する場合）

・根太せいとジュピーの厚さが等しい場合、図5のように大引までジュピーをはめ込みます。

※脱落防止のため、大引の芯々に割り付けてください。

・施工時の押し込みすぎ等により、ジュピーが過大にたわむことのないようご注意ください。

※ジュピーの厚さより、根太せいが高い場合は、Jピンなどの受け材を使用して下さい。

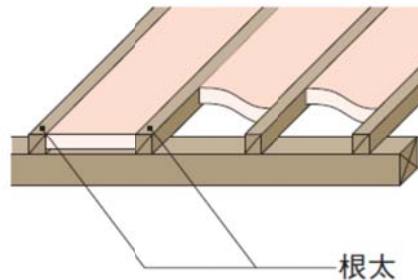


図5：根太間の施工例

・他に、受け釘、受け板などを取り付け、ジュピーをはめ込む方法もあります。（図6、図7）

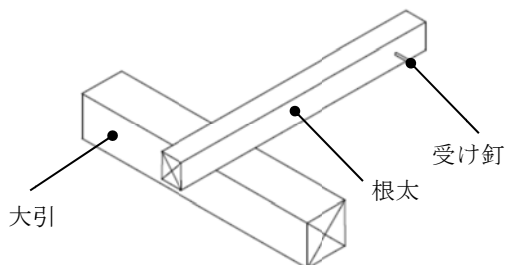


図6：受け釘取付け

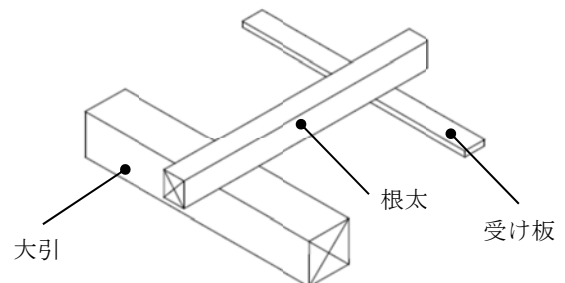


図7：受け板取付け

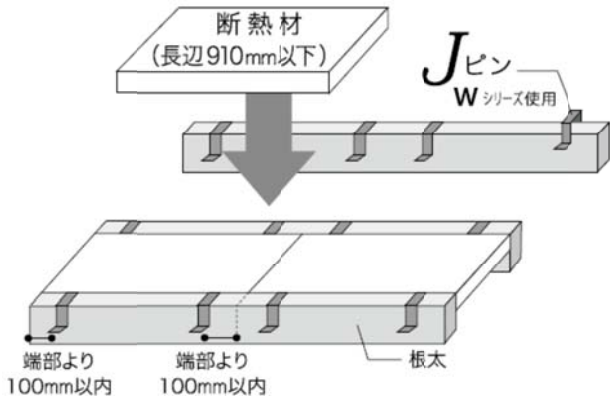
3.3. Jピンを使用する場合

⚠ Jピンは鋭利な部分がありますので、怪我などしないよう取扱いには十分注意してください。

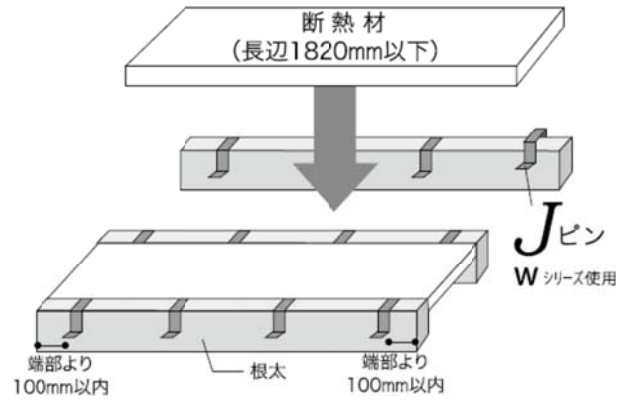
- ・ Jピンは、ジュピーの厚さに適合した品番を選定してください。
- ・ Jピンを、大引、つなぎ材などに設置してください。
- ・ ピンの設置箇所は、表 3 を標準とします。
- ・ 端の Jピンは、パネル端部から 100mm 以内に設置してください。(図 8, 図 9)
- ・ ジュピーを、ピンの上に乗せるようにはめ込みます。
- ・ 施工時の押し込みすぎ等により、ピンが外れてしまわないようご注意ください。

表 4 : ピンの設置箇所

施工位置	ジュピーのサイズ等	長辺方向	短辺方向	参照図
根太間	ジュピー長辺が 910mm 以下の場合	2 箇所	—	図 8(a)
	ジュピー長辺が 1820mm 以下の場合	4 箇所	—	図 8(b)
大引間	つなぎ材なしの場合 (ジュピー長辺 2m 以下)	4 箇所	1 箇所 (中央部) *土台、大引がある場合	図 9(a)
	つなぎ材ありの場合 (ジュピー長辺 1m 以下)	2 箇所	1 箇所 (中央部)	図 9(b)

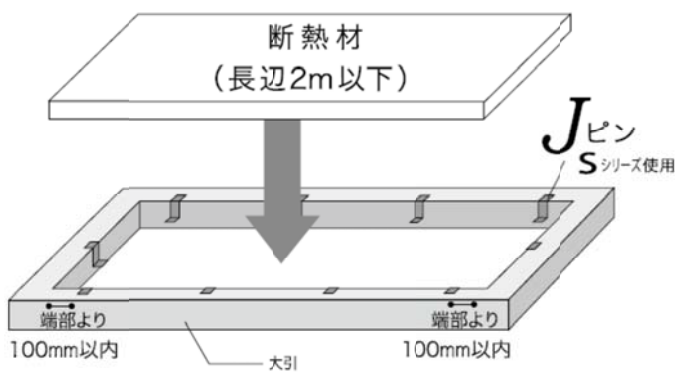


(a) ジュピーの長辺が 910mm 以下の場合

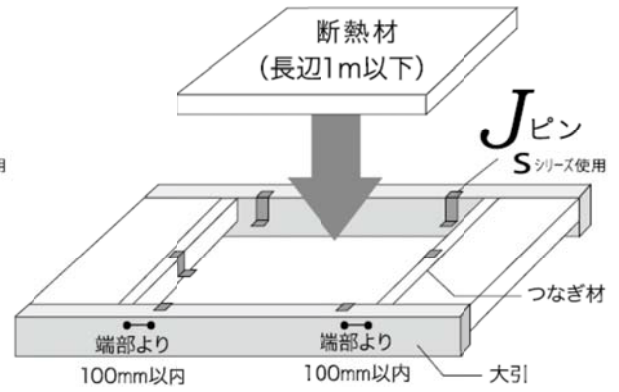


(b) ジュピーの長辺が 1820mm 以下の場合

図 8 : 根太間にジュピーを施工する場合



(a) つなぎ材なしの場合



(b) つなぎ材ありの場合

図 9 : 大引間にジュピーを施工する場合



ジュピー 取扱注意事項

ジュピーは床充填専用の断熱材です。床以外の屋根、壁、基礎部位（玄関・ユニットバス周りを除く）等には使用しないでください。

①使用環境に関する注意

- ・常時、水分に接するような使用（水蒸気が多量に発生する環境等）は避けてください。
- ・常時高温（100℃以上）で使用した場合は、熱伝導率等の物性の低下をきたします。

②保管・運搬時に関する注意

- ・保管には直射日光にあたる場所、水分に接する場所は避けてください。
- ・保管は養生シート等で覆い、ローブ掛け等の飛散防止措置を行ってください。
- ・鋭角な器物との衝突や角当ては、損傷の原因になりますので避けてください。

③施工時、作業時の注意

- ・局部荷重や衝撃により割れることがありますので、ジュピーの上に載らないように施工してください。
- ・強風下での施工は風にあおられやすいので行わないでください。

④粉塵注意

- ・切断時には粉塵が発生しますので、切断器具には集塵装置を設け、また作業者は正規の作業服を着用の上、防塵マスク、防護メガネ等の使用をお願いいたします。
- ・狭い場所で多量の切断作業を行う場合は、十分な外気の導入を行うとともに粉塵量を低下させてください。
- ・ジュピーの粉塵には健康上の有害性は認められていませんが、目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。また吸引した場合は、うがい等を行い粉塵を洗い出してください。

⑤火気注意

- ・ジュピーは炎をあてると炭化する性質があります。輸送・保管・施工にあたっては、火気にご注意ください。特に、ジュピーの切断粉塵には火が移りやすくなりますので、ご注意ください。（酸素指数：28以上）
- ・燃やした際、アンモニア臭が発生しますが人体に有害なレベルの量ではありません。

⑥変色注意

- ・ジュピーは紫外線により変色のおそれがありますので、室内側の使用であってもフォーム部分および不織布面が露出する使用は避けてください。保管中や施工中も含め、養生するなど配慮してください。なお、変色による著しい性能低下は認められていません。

⑦廃棄時の注意

- ・ジュピーは、廃プラスチック類として安定型埋立または焼却処分できます。「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に基づき許可を受けた業者で適正な処分を行ってください。
- ・圧縮・粉碎等を行う場合は、内部の炭化水素ガスが放出されます。危険防止のため、閉空間での作業は避け、十分な換気を確保した上で、火気に注意して行ってください。

⑧その他

- ・ジュピーは白アリ等の昆虫および動物によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

免責事項

- ①本施工要領書に記載した取扱注意事項が行われずに発生した不具合
- ②設計者、施工業者等使用者の指示した仕様・施工方法に起因する不具合
- ③設計者、施工業者等使用者から支給された材料・部品に起因する不具合
- ④施工業者による施工、取扱いに起因する不具合
- ⑤建物の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
- ⑥使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- ⑦引き渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、これに起因する不具合
- ⑧瑕疵を発見後すみやかに届けがされなかった場合
- ⑨開発・製造・販売時に通常予想される環境等の条件下以外における使用・保管・輸送等に起因する不具合
- ⑩地震・台風等の天災、火災等の特殊要因が原因により発生した不具合

旭化成建材株式会社 [https://www.asahikasei-kenzai.com/]

本 社	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町 1-105（神保町三井ビルディング）	TEL:03-3296-3530, FAX : 03-3296-3535
札 幌	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 1 丁目 1（マルイト札幌ビル）	TEL:011-261-5550, FAX : 011-221-2371
仙 台	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 3-1-1（仙台ファーストタワー）	TEL:022-223-8171, FAX : 022-211-9526
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦 1-11-11（名古屋インターシティ）	TEL:052-212-2251, FAX : 052-212-2257
大 阪	〒530-8205 大阪市北区中之島 3-3-23（中之島ダイビル）	TEL:06-7636-3838, FAX : 06-7636-3828
福 岡	〒810-0012 福岡市中央区白金 1-20-3（紙与薬院ビル）	TEL:092-526-2107, FAX : 092-526-2492